

# やまびこ

第108号

平成26年3月



公益財団法人 **八正会**

## 巻頭言

### 「感動し燃焼する」

理事長 玉井義郎

私たちは、日頃仕事に喜びを感じ、人生に生きがいを持ちたいといつも心に留め、常に誠意、熱意、創意の向上に鋭意努力しているつもりですが、時として『失敗したらどうしよう』『無理かもしれない』あるいは『明日からでもよいだろう』と不安、不満、不信に陥り、自分に甘えてしまうことがあります。そんな時、必ず自分に強く言い聴かせる言葉があります。『よし！今がチャンスだ』『私はできる』『必ずやる』『良い結果が期待できる』。それは、現在の積み重ねが未来につながる、今の考えや行動があるから明日への道が開けると信じているからです。しかし、どんなに固い決意を持っていても、それを行動につなげなければ、『棚からボタ餅』です。棚のボタ餅だって、じっと口をあけて待っていても勝手に落ちてはきません。棚を力強

くゆる行動力が必要です。

プロとは理屈でなく結果で勝負する人のことです。そのためには、どんなにつまらないと思うことでも感動し、どんなに小さなことでも燃焼させることです。

燃えない人、感動しない者に本当の喜びも楽しみも成果も、また人間の魅力も得られないことを痛感しております。

私の人生、それは感動し燃焼することでありたい。



# 新入会員の紹介

## 合格おめでとう！

4月より13名の高校生が新しい仲間として入会されます。  
温かくお迎えしましょう。



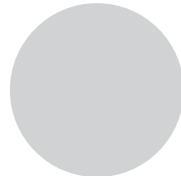
- ①小林 陽一郎
- ②岡山市
- ③灘崎中
- ④岡山城東高校



- ①黒田 尚輝
- ②赤磐市
- ③磐梨中
- ④明誠学院高校



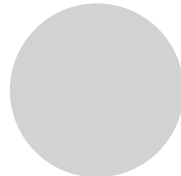
- ①栢原 勝也
- ②赤磐市
- ③吉井中
- ④瀬戸高校



- ①栗山 恵輔
- ②岡山市
- ③灘崎中
- ④就実高校



- ①吉川 朋之
- ②倉敷市
- ③新田中
- ④総社南高校



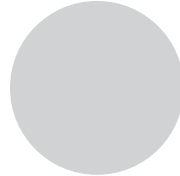
- ①名田 怜央
- ②倉敷市
- ③真備中
- ④玉島高校

## プロフィール

- ①氏名
- ②現住所
- ③出身校
- ④入学校



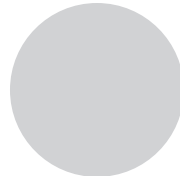
- ①熊谷 舞佳
- ②瀬戸内市
- ③岡山操山中
- ④岡山操山高校



- ①戸田 花
- ②津山市
- ③津山西中
- ④津山高校



- ①守時 優里
- ②瀬戸内市
- ③長船中
- ④岡山一宮高校



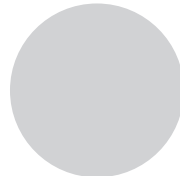
- ①井上 真実
- ②倉敷市
- ③多津美中
- ④倉敷青陵高校



- ①藤原 淳美
- ②岡山市
- ③岡山操山中
- ④岡山操山高校



- ①濱田 実苗
- ②岡山市
- ③旭東中
- ④岡山城東高校



- ①影山 都花
- ②岡山市
- ③西大寺中
- ④山陽女子高校

# 目次

巻頭言	理事長	玉井義郎
新入会員紹介	南	智
「鳥の目」「虫の目」「魚の目」	岡 征二郎	1
もうひとつの教育	岡	2
人前で話す時に一寸!!	相 木 和己	5
三年間を省みて	藤 原 亮輔	6
徒然なる話…おもしろいよ?	石 井 宏佳	7
心の支え	後 藤 眞依	8
将来の夢について?	中 村 樹里	9
新しい自分に出会うために	安 井 彩果	9
高校三年間を振り返って	橋 野 弘道	10
私の好きな言葉	佐 伯 映美鈴	11
挑戦の一年!	岡 本 拓人	12
感謝	藤 堂 政行	13
成長	吉 川 江美	14
もうすぐ卒業	影 山 俊介	14
お世話になった八正会	山 本 成	15
好きなもの	増 田 真帆	16
センター試験での一人の少年の物語	宮 田 吉朗	17
三年がたって	斎 藤 莉華子	18
目	笠 上 笑太	19
三年生、零学期	井 上 法子	20
はじめての実習を終えて	小 林 桂子	21
去年の今頃は	久 富 聖也	21
夢を語る	難 波 千奈	22
一―六	木 田 杏奈	23

「締切」を考える	小林 遥	24
白井健三について	影 山 花	25
受験生に向けて	日 名 絵里華	25
ウインターカップ	小 野 龍司	26
一年間	小 野 茜	27
欲	片 山 遥	28
部活動の思い出	小 野 史	29
もしも六億円当たったら	清 水 晃希	30
新年に思うこと	萩 原 萌	31
高校生活	藤 原 淳平	32
この一年間を終えて	酒 井 彩夏	33
操山高校野球部の一員として	佐 伯 拓馬	33
身を持って経験した大切な事	岩 田 真央	34
部活と勉強と	三 宅 晟	35
一年の計は一月二十一日にあり	河 本 柚月	35
新人戦を経験して	吉 川 智也	36
二年生になる前に	松 村 優	37
私の所属する部活動について	水 川 碧	38
昨年の振り返りと今年の抱負	安 井 佑果	39
一年間をふり返って	高 橋 聖	40
サマーキャンプに参加して	宇 野 美咲	40
一年間を振り返って	蘆 原 薫	41
すごいな!	黒 住 美恵子	42
二年生に向けて	檜 原 大毅	43
「かもめ食堂」	合 田 紗也	43
高校生活	濱 田 恵理香	44
お便りコーナー	編 集 後 記	46

# 「鳥の目」「虫の目」「魚の目」

理事 南 智

「地球は太陽の周りを回っている」という地動説を初めて唱えたのは、十六世紀の天文学者コペルニクスである。ところが、この地動説は、天動説を主張する教会から厳しく禁止されていた。しかし、その後、この地動説を支持する者が現れた。ガリレオ・ガリレイである。精度の高い望遠鏡をつくり、木星・土星・太陽の黒点などを観測して、コペルニクスの地動説が正しいことを証明した。また、彼はピサの斜塔のつるしランプが揺れるのを見て振り子の等時性を発見した。さらに、斜塔で落体の実験を行い、物体の落下速度は、その重さに関係なく等速度で落下するという落体の法則を発見した。

気象庁防災気象官等を勤めた後、NHK解説委員となり気象エッセイストとして活躍された倉嶋厚さんは、気象放送の発展に力をつくした方である。彼は、天気予報を受け持つようになった頃、先輩から「天気図は空の見えない地下室で描け」と教えられた。細かい空の変化を気にせず大局をつかめとの意味だったと。しかし、別の先輩からは

「予報をしようと思ったら、まず屋上に出て空を見る」と言われたという。この二つの忠告は両方とも当たっていたと述懐されている。理論的に考えて大筋を誤らないことと、現実主義に徹することの二つの兼ね合いが大切と言われるのだ。

私は大学で地理学を専攻したが、先生から、地域を研究するには「鳥の目」と「蟻の目」の二つの目で歩き回って調査し、地域の特徴を明らかにせよと教えていただいた。マクロな視点とミクロな視点の両方をもつことが大切だということである。

現在では一般には、「鳥の目」「虫の目」と言われ、さらには、流れの中で今の位置を見定め、これからの方向を見る「魚の目」も加えられていることも多い。

研究や企業経営などにおいても、高い所からマクロな見地であるが複眼という要素で出来るだけ多くのことを検討して判断する力、流れを読んで展開シナリオを構築する力、この三つの力によって課題が解決することは多いと言われる。勉強にも応用できるのではないだろうか。

大きな夢の実現に向けて三つの目を駆使し、自分が持っている課題を解決したいものである。

(元ノートルダム清心女子大学教授)

## もうひとつの教育

理事 岡 征二郎

私たちを取り巻く環境は、地球的視野で見ると、人口の爆発的な増加に加え、地球温暖化の進行、穀物生産量の伸び悩み、エネルギー問題、深刻な水のストレス（制約）を受け、人口の増加、生物の多様性の消失等多くの課題を抱えている。また、国内では少子高齢化が進む中で、「格差社会」とか「無縁社会」といった言葉が広く話題になっている。持続可能な世界の実現、健康で文化的な生活を保障し、人と人とのつながり、人と自然のつながりを大切にする地域づくり、それらの基礎となる教育の重要性は、国際的にも、国内的にも高まってきている。このようなことから現代においては、人類が現在の生活レベルを維持しつつ、次世代も含むすべての人々により質の高い生活をもたらすことの出来る状態での開発を目指すことが重要な課題となっている。

このため、個人個人のレベルで地球上の資源の有限性を認識するとともに、自らの考えを持って、新しい社会秩序を作り上げていく地球的な視野を持つ市民を育成するため

の教育に期待が寄せられている。このことから、持続可能な開発（将来の世代のニーズを満たす能力を損なうことなく、現在の世代のニーズを満たすような社会づくり）を実現するために発想し、行動できる人間を育成する教育が求められている。

今、世界には環境、貧困、人権、平和、開発といった様々な問題が現存している。これらの現代社会の課題を自らの問題として捉え、身近なところから取り組むことにより、それらの課題の解決に繋がる新たな価値観や行動を生み出し、それによって持続可能な社会を創造していくことを目指す学習や活動が求められます。このような持続可能な社会づくりの担い手を育む教育がESD（持続可能な開発のための教育）である。

「持続可能な開発」を進めていくために、学校教育、社会教育、国際機関、各国政府、NGO、企業内研修、地域活動等あらゆる主体間で連携を図りながら教育と啓発活動を推進する必要がある。この教育の範囲とは、環境、福祉、平和、開発、ジェンダー、人権、国際理解、貧困撲滅、識字、エイズ、紛争防止など多岐にわたるものです。

### (1) ESDの目標

ESDの目標は次に示すものである。

①すべての人が質の高い教育の恩恵を享受する。

② 持続可能な開発のために求められる原則、価値観及び行動が、あらゆる教育や学びの場に取り込まれること。

③ 環境、経済、社会の面において持続可能な将来が実現できるような行動の変革をもたらす。

目標を達成した結果として、持続可能な社会への変革を実現することである。

## (2) わが国におけるESD

世代間の公平、地域間の公平、男女間の平等、社会的寛容、貧困削減、環境の保全と回復、天然資源の保全、公正で平和な社会など、ESDにおいて取り組むべき課題は多岐にわたります。ESDで目指すべきは、個々人が単にこれらについての知識を網羅的に得ることだけではなく、「地球的視野で考え、様々な課題をみずからの問題として捉え、身近なところから取り組み、持続可能な社会づくりの担い手となる」よう個人を育成し、意識と行動を変革することです。そのためには

① 人格の発達や、自律心、判断力、責任感などの人間性を育む

② 個々人が他人との関係性、社会との関係性、自然環境との関係性の中で生きており、「関わり」、「つな

がり」を尊重できる個人を育む

という二つの観点が必要である。このような観点を踏まえた上で、公共に主体的に関わり、持続可能な社会づくりに参画する個人を育むことを目指す。

二〇〇八年と二〇〇九年に公示された学習指導要領などには、持続可能な社会の構築の観点が含まれているので、教育基本法と新学習指導要領に基づいた教育を実施することにより、ESDの考え方に沿った教育が可能になります。

## (3) 文部科学省における取り組み

ユネスコが取りまとめている「国際実施計画」における三つの視点に注目し文部科学省の施策例を示す。

### ① 社会・文化の視点

社会を構成する機関とその役割について理解し、意見の表明、コンセンサスの形成、他者との違いの克服の機会を与える民主的で参加型の社会を構築する。また、文化に付随する価値観、多様性、知識及び世界観は人々の日々の暮らしを送るための生活、関係、振る舞い、振興、活動の方法を意味するものです。内容としては、人権教育、異文化理解、男女共同参画、エイズ克服等である。

### ② 環境の視点



資源と自然環境との脆弱性や人間の活動が環境に及ぼす影響について認識し、環境についての関心を社会的な政策に反映する。

環境教育では、その重要性を認識し続けるとともに、資源を保護するために、学習者が新たな行動を実行することを可能にする。

#### ③経済の視点

個人及び社会レベルの消費を環境や社会的な観点から評価し、経済的成長の限界と可能性及びその社会と環境への影響について認識できるようにするため、地球資源の現状と重要性を認識し、地球に負担を掛けない新規の資源の開発、既存の資源のリサイクルを促進し、企業のみならず、個人レベルにおいて省資源の意識を高揚する。

#### (4)教育の場と内容

ESDにおける「教育」については、学校等の公的教育のみならず、個々人の意識に影響を与えるあらゆる場で実施されることが重要である。

##### ①教育の場

学校教育、公民館や博物館等の社会教育、職業訓練校などの公的機関、地域コミュニティー、NPO、各事業者、マスメディア等々。

##### ②教育の内容

環境教育や開発教育をはじめ平和、人権等のESDの対象となる課題について、学校ではすでに生活科、社会科、理科、技術・家庭科等の各教科や道徳、総合的な学習の時間等において取り扱われており、また、社会教育施設、NPO活動、企業内研修等において、環境教育、国際理解、人権教育、消費者教育、キャリア教育、食育等が実施されている。しかしながら、ESDではこれら個別の取り組みではなく、様々な分野をつなげて総合的に扱っていくことが大切である。

今回の、学習指導要領の改訂では、持続可能な社会の構築についてもその観点が盛り込まれている。特に総合的な学習の時間では、各教科で学んだ知識の定着、思考力、判断力、表現力、問題解決能力を育成したり、自ら調べたり、考えをまとめて発表するなど、ESDに関する学習を一層深めることが出来る。このような学習を通じて、地域づくりへ参画する態度を育成することが大切である。

以上、ESDの実施計画最終年にあたり、我が国が提案して国際的に認められた持続可能な開発のための教育のページを開いてみました。国際社会に生きる一人の人間として、又今後の世界を背負って生きる人間として、世界に

目を向け、自分の足元をしっかりと固める必要があると思います。

### 《参考資料》

文部科学省 ・ 文部科学省における「持続可能な開発の

ための教育の十年」に向けた取り組み

・ 日本ユネスコ国内委員会

「国連持続可能な開発のための十年」関係省庁連絡会議

・ 我が国における「国連持続可能な開発のための教育の十年」実施計画（ESD実施計画）

（元旭川荘療育センター児童院顧問）

## 人前で話す時に一寸!!

理事 相木和己

皆さん、人前で話しをする時どんなことに気をつけておられますか。

簡単なようで、意外に難しさを感じさせられることもありますね。また、人前に出ると「緊張する」・「上がる」

等々、私もよくあることです。

そんなことを思いながら、私自身を振り返りつつ、考えてみたいと思います。

一、話す目的を十分に理解しておくこと。

どんな人に、何の為に話しをするのかを掴み、話す内容や許容時間により組立てをする。

二、話す態度や姿勢を大事にすること。

基本ベースになるのは、側から見られて、態度が「おうどう」であったり、「えらっそう」な格好にならないようにすることです。

三、顔の表情と目線の取り方を考えること。

まず初めの挨拶をする時の表情は素顔であり、目線は普通に前を向いた状態が良いと思っています。

後は話しの内容や時間によって、顔の表情も笑顔・笑みをもたせれば良いでしょう。目配りもしながら話し状況によっては、手振り・身振りも適当に入れてもと思います。

四、声の大小（強弱）、スピードや話しの内容によっては、話す「間」のとり方も大切ですし、聞き易さも重要なことです。

五、「ことわざ」にあります次のことも参考にすると役に立つのではないのでしょうか。

「目は口ほどに物を言う」

「話し上手は聞き上手」等々。

以上、皆さん方が十分に解っておられることもあり、失礼になったかもわかりません。

そのところは、振り返りによる復習と言うことでお許し下さい。

皆さん方には、これから将来において、色々な場面でお話しや講演会という大きな場所でご活躍の機会もあらうかと思えます。

何はともあれ、落ち着いて・慌てず・胸を張ってやりましょう。

どうか健康で、更なる飛躍を目指して頑張られますことを、心からお祈り申し上げ結びとさせていただきます。

(元株トンボ常務取締役)

## 三年間を省みて

岡山城東高校三年 藤原亮輔

センター入試も終わり、学校での授業も登校日以外、自

分に必要な授業のみの特別授業の時間割となり、いよいよ卒業が近づいてきたと感じております。入学してからも三年も経つのかと思うと、すごく短かったような気もしますし、一つ一つ思い出を拾ってみるとかなり長いものであったような気もします。

進路の方はいろいろと悩んでいて、不安もありますが、もう一度自分のやりたいこと、できることを見つめなおして決定したいと考えております。考えてみるとこの三年間、あれやこれやと飛びつき挑戦してきたように思います。おかげで興味のあることが増え、楽しい高校生活を送れたようにも思います。しかし、その反面、その多くに気を取られてしまい、学生の本分であるはずの勉強の方がおろそかになってしまったように思います。そのツケが、この終盤に回ってきて、現在の不安の一因になっているのかなと考えると、多少の後悔の念があります。

実際の所、自分が何をやりたいのか未だに見極めきれなくて、迷っております。何がやりたいのか、何ができるのか、何をするべきなのか、それらはこの先の長い人生の中で見つけていけたらいいなと思います。

なんだか大袈裟な話になったようにも思いますが、このあたりで終えて、最後のやまびこの原稿とさせていただきます。

楽しい高校生活を送ることができたのも八正会のおかげでした。毎月多額の奨学金、本当にありがとうございます。た。

## 徒然なる話：おもしろいよ？

岡山芳泉高校三年 石井 宏佳

大学入試センター試験を終え、ほっとしたのも束の間、早くも二次試験の勉強に追われている今日この頃、二次試験への気持ちの高まりと三年間の高校生活の終焉へのもの悲しさが相まって何とも複雑な気持ちです。ともかく、第一志望の大学に受かるように努力します。

現役生として最後のやまびこの原稿ですが、とりあえず後輩に向けてどのように勉強すればいいのかを少しアドバイスしたいと思います。とは言っても、僕みたいな怠け者のためのアドバイスにしかありませんが。

大学入試へ向けての勉強において一番大切なことは入試を意識せず、気楽に問題演習に取り組むことだと思います。やる気があふれ出して止まらない超サイヤ人のような人は

ともかく、とりあえずどの科目であれ面白そうだと思った入試問題から取り組むと良いです。特に数学は東京大学や京都大学、東京工業大学の問題であつてもとっつきやすいものが多いです。実際、昨年度の東京大学の文系数学では、正弦定理と中学生程度の数学の知識さえあれば解けてしまう問題も出題されています。

他にも、日頃の学習の一環として、教科書の復習がてら入試問題を利用することも可能です。ただこの場合は面白そうな問題よりも、問題の作りが丁寧で分かりやすいものを選ぶことをおすすめします。ちなみに、僕の第一志望の大学は筑波大学ですが、筑波大学の問題は難問、奇問の類が全くとと言えるほど出題されず、教科書の復習にはぴったります。

つたないアドバイスはこれくらいにして、最後に大学に進学した後にやりたいことについて書きたいと思います。もちろん、大学に受かることを前提に、楽観的に書きたいと思います。

僕が大学に進学してからやりたいことは主に二つあります。本を読むこととより深く英語を勉強することです。僕は小中高を通してたいして本を読んでこなかったので色々な本を読んでみたいです。英語の勉強については留学もしたいと考えているので一生懸命頑張りたいです。

この二つを両立させる手段として、英語の本を読むことを考えています。すでにジョージ・オーウェルとトマス・ピンチョンの本を買っていて、まずはこの二名の著名な作家の本を日本語版と英語版とを平行して読み進めていきたいと思えます。

くだらないことを書き連ねましたが、とにもかくにも三年間八正会にお世話になって研修会では様々な体験をさせていただきました。

本当にありがとうございました。

## 心の支え

倉敷青陵高校三年 後 藤 真 依

二日間にわたるセンター試験を終え、次は二次試験にむけてもうひとふんばりしなければ、と身の引き締まる思いでいます。さて、ここまでの道のりは長く厳しいと感じることもありませんが、私はさまざまな言葉に支えられてきたのではないかと思えます。その一つが「団体戦宣言」という言葉です。一年前の学年集会にて垂れ幕で登場したこ

のフレーズは、三年生としての自覚を認識するきっかけになり、全員が大学受験にベクトルを向け突き進んでいく原動力になりました。試験の前日に開かれた壮行式でもこの言葉が壁に掲げられており、目を閉じると日々クラスメイと励まし合い、夢をつかむため歩んできた軌跡がうかびました。また、青陵祭後から続いていた「一分間スピーチ」(SHR後に指名された人がスピーチをする)においてのクラスメイトからの言葉にも、私は元気をもらいました。一人ひとりを糸にたとえ、クラスの団結を語る人、自分の夢や将来について語る人、本で見つけた好きなフレーズについて語る人……。個々の話題はばらばらでも最後のまじめには受験に対するメッセージが込められており皆の言葉は、センター当日も私の心の支えとなり、二日間を乗り越えることができました。そして今、私を支えているのは「センターは通過点」という言葉です。自分を信じる事ができるのは自分であり、自分の夢を叶えられるのは自分しかない——。これからの一カ月は、自分との戦いになると思いますが、これまで積み上げてきたことを糧に最後まであきらめず走り続けようと思えます。

最後になりましたが、三年間の多額の奨学金並びに貴重な経験の場を与えてくださり、本当にありがとうございました。八正会で学んだことを胸に、感謝の気持ちを社会貢

献という形で還元していきたいです。

## 将来の夢について？

玉野高校三年 中村 樹里

今回は、やまびこを書くのが最後なので、私の夢について話そうと思います。私の将来の夢は保育士さんになることです。最近、なりたいて人多いですよね。私が、夢を決めたのは、高三の夏くらいで、受けたい大学を決めたのもその時期でした。本当は、経済系の方に進もうかなと思っていましたが、私が勉強をサボっていたため、学力が足りずやめてしまいました(笑)です。一・二年生の皆さんは、自分に後悔が残らないように、しっかり遊び、しっかり勉強して下さい。って、多分、私なんか言われなくても分かっていると思いますが!!まあ、そんな適当に決めた保育士ですが、体験学習の時、見学させてもらって、すごく楽しい仕事だと思いました。もちろん、体力もあるし、周りの先生、保護者の方への気遣いとかもしなくちゃいけないくて、大変な仕事っぽいなと感じました。

ど、すごくやりがいのある仕事だと思っんです。こうして今は、本気でなりたくて、頑張って夢を追っています。きっと、皆さんそれぞれの夢があり、その為に勉強を頑張っていることでしょう。今、夢がない人も、ゆっくり探していけばいいと思います。色々な壁にぶつかるとかもしれないけど、自分の信じた道をまっすぐ進んでいって下さい。私も頑張ります。

## 新しい自分に出会うために

岡山芳泉高校三年 安井 彩果

高校三年間。本当に短かった。しかしその充実した毎日を送れたと思っている。そして何よりこうして今日まで楽しい日々を過ごせたのは友達や家族のおかげであって、本当に感謝している。ありがとう！

私の高校三年間は特にこれといったものはない。しかし二年の時の文化祭の劇では主役をやらせてもらったし、三年の文化祭では有志団体として仲の良い子とダンスを舞台でやらせてもらった。勉強のことで悩んでいた時期もあっ

だが、今となつてはやりたいたことを全てやっておいて良かったなと思つている。どんな体験も自身を成長させてくれる。それを実感できた三年間でもあった。もちろん勉強も毎日しなくてはならない。忙しくてなかなかできなくてもスキマ時間に英単語を見るだけで模試の結果は変わっていく。信じられないかもしれないが、ぜひぜひ続けていってほしい。私は高校生活はやりたいたこともやるし、勉強も怠けないというように欲張りであつてもいいと思う。

それから友人である。私はこの三年間で本当に素晴らしい友人と出会うことができた。何も言わなくても私が考えていることを理解してくれる友人までいる。そして宝塚の試験を三年間うけ続けている友人もいる。私はいつもその子の努力と明るさには支えられてきた。友人は自分にとつてかかせない存在である。

と、ここまで書いて何をみんなに伝えたいのかわからなくなつてしまつた……

とりあえず三年間というのは本当に短いので欲を持ちながらも自分に自信をもつて毎日を大切に過ごしてほしいと思う。

最後に、私ごとだがこれからの目標を書きたいと思う。

今年の四月から大学生！私は初めて、本当にこれになりたい！と思える職業に出会えた。だから夢を追いかけ

る！のではなく…夢をつかみにいきたいと思う。大胆な目標ではあるが毎日を悔いのないように過ごしていこうと思つている。

最後の最後になりましたが、八正会の皆様、三年間奨学金をありがとうございました。三年間楽しく過ごせたのは皆さんのおかげでもあります。本当に感謝しています。これからもここでの出会いを大切にして、頑張っていきたいと思えます。

## 高校三年間を振り返つて

岡山朝日高校三年 橋野弘道

時が経つのは早いもので、高校生活も残すところあと一カ月となりました。今はセンター試験を終え、二次試験に向けてもう一踏ん張りというところで「卒業」といつてもまだピンときていませんが、私の高校生活を振り返つてみたいと思います。

振り返ってみると、この三年間で様々な人と出会い、その一つ一つが私自身を成長させてくれたと思います。友達

との出会いは私にとって視野を広げるきっかけにもなったり、私にエネルギーを与えてくれたりもしました。例えば、受験勉強に嫌になっても、友達が頑張っている姿を目にすることで自分も頑張らなきゃと思え、切磋琢磨していくことができました。そして八正会のみなさんとの出会いもまた私にとってかけがえのないものです。八正会でなければ出会うことはなかったであろう人がほとんどで、出会いというのは本当に不思議なものだと感じます。だから私はこれまでの出会い、そしてこれからの出会いもすべて大切にしていこうと思います。

最後になりましたが、三年という長い間八正会の皆様に援助して頂き本当に感謝しています。奨学金のおかげで学費等の負担を減らし、三年間朝日高校に通うことが出来ました。また、奨学金だけでなく研修会の機会も用意してくださり、毎年様々な経験をすることができました。デイベート・スタンプ・キャンプファイヤー・梨狩り等々、学校ではなかなかできない貴重な体験ばかりで本当に楽しかったです。そして個人的で優しい先輩方、元気で面白い後輩達、私達を見守ってくださったトンボの方々との出会いは私の一生の宝です。三年間本当にありがとうございました。そしてこれからも宜しくお願い致します。

## 私の好きな言葉

岡山操山高校三年 佐伯 映美鈴

私の高校三年間は本当にあつという間でした。本当に素敵な人達に恵まれて、充実した時間を過ごさせていただきました。

そんな私の高校三年間で自分や、時には友達を励ます時に使っていた言葉があります。

「夢が見られるなら、実現できます」

これは私がある後輩に贈った、ウォルト・ディズニーさんの言葉です。この言葉には色々ならえ方が出来るかと思いますが、私は、「自分が叶えたい夢があり、そこに努力が伴うのであれば夢は実現する」という風にとらえています。スポーツなどでよく、イメージトレーニングという言葉聞きますが、それに少し近いのかなと思います。しかし、不思議なことに、努力を積み重ねる程、自分の理想の姿というものはより鮮明に思い浮かぶものなのですよ。本当に。

私が高校生活で最も「夢見た」のは、部活動での中国大会出場でした。三年生が二人しかいなかった私たちは、今



振り返ってみても、ただがむしやりに練習していたと思います。私は毎晩、寝る前に自分が中国大会でプレーしている所を、思い描いていました。練習して苦手な所を克服していったり、あざだらけの自分の脚を見ると、自分に自信が付き、イメージはもつと具体性を増していきました。試合前もチームでイメージトレーニングをしました。そのおかげか、私はあまり緊張することなくプレーすることができました。

私はあと一つ叶えたい夢があります。そのためにまだまだ私は頑張らなければなりません。今まで支えてきてくれた人々に、いい報告ができるようにしたいです。

最後になりましたが、三年間多額の奨学金をいただき、八正会の皆様、本当にありがとうございます。この恩を社会に貢献することで返していこうと思います。

## 挑戦の一年！

明誠学院高校三年 岡 本 拓 人

皆様、明けましておめでとうござります。

早いもので、二〇一四年がスタートしましたが皆様はどのような抱負をお持ちですか。今年の僕のテーマは「挑戦」です。

来る四月からは、華の大学生（になれるかどうかはまだ未定なのですが…）。新しい事に積極的に「挑戦」しよう！という意味を込めて、この様なテーマにしました。

二〇一三年では、色々な体験をしましたがどの体験も、今思い出してみればどれも中途半端だったかもしれないと痛感してしまうのが正直なところです。その様なことも含めた上で、今年のテーマを決めました。

高校生活で、多くの事を学んできましたがやはり一番大切なことは、大きな目標を一つ決め、そこに向かうまでに小さな目標をコツコツ達成し、前進していくことだと感じました。

嬉しいことや楽しいことより、どちらかといえば辛いことや悲しいことの方が多かったかもしれません。しかし、今改めて考えてみると、その苦難のおかげで何倍も何十倍も成長出来ているのかなと思います。

そんな経験を、今年の「挑戦」のテーマに活かしていきたいと思います。

…これで、八正会の原稿を書くのは現役としては最後となります。今まで多額の奨学金や貴重な体験の機会を与え

て頂き、誠に有難う御座いました。これからも、どこかで私、岡本拓人をよろしくお願い致します。

と、真面目なあいさつで僕の近況報告を終わります！有難うございました。

## 感謝

倉敷青陵高校三年 藤 堂 政 行

先日センター試験を受けてきました。ほっとするのも束の間、今は二次に向けて勉強しています。これから僕がセンター試験を通して感じたことをお話ししたいと思います。

センター前々日。この日はセンター前最後の集会が開かれました。そこには「団体戦宣言」と書かれた大きな垂れ幕、壁には後輩たちが書いたメッセージが貼られています。そして集会後のHRでは、先生方からのプレゼントとして「センターはつうかてん」と刻まれた鉛筆が配られました。こんなに学校中から応援されている、こんなに期待されていると思うと涙があふれそうな思いました。次の日帰宅後に携帯を見ると、仲の良かった先輩から「お前

なら絶対に見える。努力してきたじゃないか。落ち着いて頑張れ。」というメールがきていて、不安に押しつぶされそうになっていた僕はとても勇気づけられました。

そして迎えたセンター本番。三年間一緒に頑張ってきた友達と互いに健闘を誓い試験に臨みました。初め一瞬パニックに陥ったが、応援してくれる人たちのことを思い出すことで気持ちを立て直すことができ、なんとか無事に試験を終えることができました。

試験が終わって思ったことは、自分の周囲の人たちの存在は大きいということ。切磋琢磨し叱咤激励し合うことができる友達、親切に教えてくださったたり、アドバイスをくださる先生方、陰ながらサポートしてくれる家族、そして八正会様。こんなにも多くの人に自分は支えられているんだ、僕は幸せなんだと思いました。環境って大事ですね。

これからの一か月は二次試験に向けて頑張るだけになりました。泣いても笑ってもあと少し。少しでも自分の夢に近づけるように頑張ろうと思います。

最後になりましたが、三年間奨学金を給付してくださり八正会の皆様にはとても感謝しています。卒業後は大学に進学して勉強し、将来社会に貢献していこうと思います。本当に三年間ありがとうございました。

## 成長

倉敷古城池高校三年 吉川江美

私は文章を書くのが苦手です。

けれども、八正会に入会し、「やまびこ」に自分の最近のこと、また感じていることを書いているうちに以前より文章を書くことへの楽しさを感じるようになりましたが、まだまだ文章にもまとまりがなく自信がもてません。

しかし、八正会での「やまびこ」や研修での感想を書く機会がなければ、自分自身について改めて考えたり、苦手なことへチャレンジすることから逃げ、克服できなかったかもしれません。

私は人間は誰しも得意なことあれば不得意なこともあると思います。得意なこととはもっと上を目指し努力しますが、苦手なことには逃げ腰であまり取り組もうとはしません。

私は文章を書くこと以外にも人前で自分の意見を主張したりすることなど、不得意なことが大いにありました。でも、八正会に入会させていただいたおかげで、チャレンジ精神が身につつき、不得意としていたことが減り、そしてた

くさんの人との新しい出会いもあり、この三年間でいろいろ学ばせていただき、自分自身成長したなど痛感しています。

これから進学しても、いろんな壁にぶつかり、悩むことが大いにあると思いますが、今までの経験を活かし、頑張っていこうと思います。八正会に入って本当に良かったです。三年間ありがとうございました。

## もうすぐ卒業

岡山朝日高校三年 影山俊介

いよいよ三学期が始まり、やまびこの原稿を書くのもこれが最後になってしまいました。八正会さんには、高校生活三年間に多額のお金を援助していただき、ありがとうございました。

さて、一部の三年生にとっては、三学期は勝負の時期でもあります。そう、受験の季節です。工業高校の人などは就活や就職内定が決まる一、二学期が忙しい、ということ聞きますが、いち受験生である僕はまさに今が踏ん張り

どころなのです（この原稿を書いたのは一月なので）。一日が過ぎるのが早い！一日中緊張しています（笑）

これは多くの人が言っていることですが、高校入試と大学入試とでは規模が全く違うんだ、ということは今まざまざと知らしめられているところです。僕は中学生の時にはほとんど部活しかしていなくて、三年生の時の八月に引退してもやる気が起きず、目が覚めた時には十二月になっていました。その後は頑張って勉強して高校生になれたのですが。

高校生になり、文武両立を目指したのですが、これが意外と大変で、どちらも中途半端にやったりやらなかったり。受験勉強を始めたのは二年生の冬休みの時です。中学生の時にギリギリまでエンジンがかからず冷や汗をかいた反省も踏まえて自分なりに少し早めに取りかかったつもりです。成績は急には伸びませんが、我慢してやり続けた末、最近になってやっと効果が出てきました。今は悔いを残さないことを第一に勉強しています。

センター試験まであと十数日になりましたが、まだ受験は始まっていません。ですが、家のお金の都合もあり、思っていたところとは違う大学を受けなければならぬかもしれない、もしかしたら浪人!?ということを考えると、不安は増すばかりです。しかし、ここでブレーキかけたヤツが

落ちるんだぜ!!と自分に言いきかせてひたすら凡事徹底に励む日々。勉強に集中している時だけは不安を感じないこともあり、あと少しの受験生活を楽しもうと思っています。善よかれ悪あしかれ、一生に一度しかない大学入試ですから。三年間ありがとうございました。

## お世話になった八正会

岡山操山高校三年 山本 成

今年は人生初のセンター試験を受験しました。三年生になって何度も模擬試験をしてきたのでマークミスはまずないだろうと思いましたが、やはり本番となると緊張が迸はなはりました。（数学でマークを一つずらして書いていたことに気づき、急いで書き直しました。）緊張したといっても、初日の最初の教科が始まるまでの間だけであって、それ以降は先生や親に言われた平常心を保ちつつ、程良い緊張感で試験に臨む事が出来ました。小中学校の同級生と久し振りに会ったり、高校の同級生や先生と少し話を交わしたりしたので、意外にも楽しく過ごす事が出来ました。大学へ

の第一関門であるセンター試験の結果ですが、自分の目標点にギリギリ到達しましたが、完全に安泰とは言えないので、二次試験も油断は禁物です。

僕が八正会に書く原稿もこれで最後となりました。八正会に入会してから約三年が経過しましたがとても早く感じます。時間が早く感じるのは、ジャーネーの法則というものがあって、人は一年を現在の年齢分の一という風に捉えるそうです。三年といっても、年に四回の計十二回しかなかったので皆勤したと思っていましたが、学校の模試で都合が悪くなり、二回休んでしまいました。最初の入会式の時は、こんな人見知りの僕が（今でも人見知りですが）他のメンバーと上手くやっていけるのかと心配していましたが、今では八正会のメンバーは本当に最高だったと自信をもつて言えます。八正会の中で特に夏期研修は面白かったです。デイベートはやはり好きになれず、三年生のときはその出来無さを露呈してしまいました。学生ンツではよく殻を割ったものだと我ながら感心しますが、今思うと恥ずかしいです。そして、僕は八正会を巣立ちます。三年間奨学金を支給していただいた八正会には感謝しています。三年間本当にありがとうございました。今後は先輩として出来る限り研修に参加し後輩にアドバイス出来るよう頑張りますのでこれからもよろしくお願いします。

## 好きなもの

岡山城東高校三年 増田真帆

私の好きなものは、まわりのみんなによくずれている、と言われます。最後のやまびこですが、今回は私の好きなものの話をしようと思います。

まずはあめです。いろんな味がありますが、私は黒あめがすごく好きです。もつと詳しく言うなら、春日井の黒あめが好きです。あれです、おばちゃんたちのぼっけから出てくる黒い包み紙に赤い字の黒あめです。すごくおいしいので一度みんなにも食べてもらいたいです。友達によく「あめちゃんいる？」と聞いてあげたりするのですが、黒あめを出すいつも「好みがババくさい」と笑われてしまいます。でも黒あめはやはりおいしいのです。私はめげずに今日も甘くておいしい黒あめをなめ続けます。

次に、音楽です。私はスピッツがすごく好きです。黒あめより好きです。おそらくスピッツと聞いて、バンドより先に犬のほうが出てくる人は少ないと思います。たぶんみ

んなチェリーとか空も飛べるはずとかなら聞いたことある  
と思いますが、スピッツはそれだけではありません。コマ  
ーシヤルなどで、僕はきつと旅にでる、とか、♪負けな  
いよ僕は生き物で、とか、耳にしたことがあるはずで  
スピッツは聞いててすごく落ち着くので、寝る前とかに聞  
くのがすごくおすすすめです。しかしスピッツも黒あめと同  
様に、「世代違うよね」と笑われてしまいます。確かにそ  
うかもしれん。なぜならば、スピッツが結成したのは私た  
ち十八才が生まれるより昔で、メンバーはみんなアラフォ  
ーだからです。ですがボーカルの草野マサムネさんをはじ  
め、みんなすごく可愛いです。ちなみに私はドラムの崎山  
龍男さんが好きです。みんな知らないと言う前に一度聞く  
ことをおすすすめします。よくわからん趣味、と言われても  
私は今日もめげずにスピッツを聞き続けます。

このほかにもたくさんあります。生物の資料集に載って  
いるバージェス動物の一種であるオパビニアが好きだった  
り、ヒトの肝臓の形が好きだったり、スーパーファミリ  
コンピュータ、略してスーフアミの時代のゲームが好き  
だったり、数えあげるときりがありません。

ですが、ずれていても、好きなものは好きなのです。胸  
を張って好きを語っていると、それはそれは楽しい時間にな  
ります。そのうち同士も見つかります。おすすすめです。

最後になりましたが、八正会の皆様、三年間多額の奨学  
金と、さまざまな研修をありがとうございました。卒業し  
ても機会が合えば、研修に参加しようと思っっているの  
ので、そのときはまたよろしくお願いします。

## センター試験での一人の少年の物語

岡山芳泉高校三年 宮 田 吉 郎

先日センター試験が行われました。ここではある一人の  
少年のお話をしようと思います。

彼はこの試験に向けて毎日勉強を頑張ったそうです。国  
語が少し足を引っ張っていたので特に力を入れて勉強し、  
残り二週間で現・古・漢を四十題も解いたと言っていました。  
た。その国語は三時間目に行われました。実は昨年  
のセンター試験は国語が非常に難しく、多くの受験生が苦しめ  
られました。そして昨年は旧課程最後の学年。昨  
年が難しく、今年  
は浪人をさせないために簡単になると予想されて  
いました。彼も  
みるみる国語の力をつけ他の教科も八  
割以上はとれると言っていました。そんな彼は少し不安を

抱えながらも自信をもって国語に挑んだに違いありません。「試験開始！」の合図で問題を解き始める。ところがなんと今年は去年よりさらに難しく彼は頭が真っ白になりそしてなんと涙も流したと言っていました。周りの友達は「みんな出来てないから大丈夫。」と慰めてくれたようですが、彼の出来は、実際後の自己採点での結果も他の追隨を許さなくらい悲惨な点数で国語を頑張った彼の心境は図りられません。それ以降の教科もメンタルが崩壊し全然できず、なんと直前のテストから二百点近くも下がったそうです。

しかし唯一の希望の光は、彼の志望大学はセンター七科目のうち国・英・世・数の四つしか使わず、しかも彼は英語・世界史は一間ミスで抑えほぼ満点でした。それでも国語であまりにも下げてしまい判定は「D」でした。絶望的な状況ですが彼は英語が得意で二次試験は英語一本だから頑張ると言っていました。

この彼のエピソードから皆さんは何を思いますか。ここで僕からのアドバイスですが、センターは本当に一間の勝負。たとえ何かのテストが出来なくても絶対<sup>絶対</sup>に切り替えて一間正解すれば三点ももらえます。センターはメンタルとの闘いでもあります。いかに平常心で臨むかです。勉強面でのアドバイスは必ず国・数・英のどれかで得意科目をつくり他の二つも苦手意識がないように早期に勉強して下さい。

い。

彼の結果はいつか話せるといいですね。それにしても大学入試センターはひどすぎる！

## 三年がたつて

津山高校三年 齋藤 莉華子

二月、卒業も一カ月後に迫ってきました。私はこの三年間本当に多くのものを得てきました。その中でも一番大きなものは友達です。何かあった時相談することのできる友達がいことは本当に幸いで、毎日何気ない会話をしたり、一緒に笑ったり、常に側で支えてくれました。さらに、学校だけではなく、ここ八正会でもとても大切な人と出会うことができました。一年に四回しか会っていないはずなのに、学校で話せないことも話すことができます。八正会で出会ったからこそこんなに仲良くなれて、きつと学校で出会っていても同じグループになることはなかったと思います。

春からは知らない土地で、新しいスタートを切ります。

新しい出会いや初めて経験することもたくさんあると思います。私は、この三年間で学んだ『出会い』を大切にしたいと思います。

最後に、三年間本当にお世話になりました。八正会のメンバーであることは私の誇りです。多くの刺激をもらい、八正会に来るたびに一回り成長できたと思います。来年の今頃は就職活動の真っ最中なので、笑顔で良い報告ができるよう頑張ります。いつか私の乗る飛行機に乗って下さいね♡

三年間本当にありがとうございました。

## 目

岡山芳泉高校二年 笠 笑 太

昨年立冬、網膜剥離が見つかった。自分の目の異変には少し気づいていたが、軽い気持ちで眼科で受診したところ、入院手術を宣告された。一回目の涙。怖さとショックで心がぐちゃぐちゃになった。そんな中で、家族や友達のたくさん励ましなどとても元気が出た。だが、依然と

して不安は消えなかった。

入院当日、様々な診察を受けていく中で、症状の発見がかなり遅く、かなり状態が悪いことがわかったり、大がかりな検査で何度も失神しかけたりと、入院の前から大変な思いでした。しかし、たまたま出会った二つ上のサッカー部の先輩や、ずっとそばにいてくれた母から元気をもらい、手術前夜に無事、覚悟することができた。

入院することになった部屋に一人のおじいさんがいた。彼は胃ガンで入院していたそう。年は自分の約五倍、八十一歳。自分よりも六十四歳も年上であるのにも関わらず、何の障壁もなく、友達のように接することができた不思議な存在だった。すぐに仲良くなった。おそらくこの出会いこそが、目の手術によって得ることのできた最高の宝物と言えるだろう。

手術直前、彼は僕に、自分の名前が笠笑太ということを知り、「笠地蔵様も見てくれとるわ。名前にもあるんだから笑顔忘れずにがんばってこい。」と会って一日の僕を本気で応援してくれた。二回目の涙。たくさん検査を重ね、見えなくなった右目からもいっちょまめに涙は出た。

手術。怖かった。だけど、おじいや友達からのたくさん励ましメール、電話のおかげでがんばれた。もちろんお医者さんにはお世話になったけど、一人でがんばれた成功



ではなく、たくさんの人の支えあつてのものだと思う。

手術後、今まで経験したことのない痛みに襲われた。あれはもう経験したくない……。その一方で目の回復は順調であった。

退院前夜、おじいと最後の「おやすみ」を交わした。三度目の涙。見ず知らずの僕を本気で応援してくれた。六十四歳上の親友ができた。

今回の目の手術でたくさんの大変な思いをしたが、自分の周りの支えてくれた人々の心の温かさや自分の周りだけでなく良い友達に恵まれているか再確認できた。そして何より最高の出会いがあった。

これからもたくさんの人への感謝を忘れず目を大切に、精一杯人生楽しんでいきたいです。

家族、友達、先生、おじいさん、ありがとう。

## 三年生、零学期

倉敷古城池高校二年 井上 法子

三年生がセンター入試を終え、いよいよ自分が受験生になる順番になったのだという実感がわいてきました。学校では、先生方に三年生零学期と言われ、受験が恋人と言う先生までもいます。

私の所属しているクラスは、学年でも特に優秀なクラスです。定期テストでは、ほとんどすべての教科のクラスの前平均点が全クラスでトップ。さらにクラスの平均点が全体の平均点を十点以上上回る教科もあります。自分がクラスの足を引っぱらないようにと、自分も勉強しなければいけないという空気があります。休み時間や自習の時間には分からないところを教え合っている級友も多く見かけます。お互いに刺激を与え合え、成長できるとてもいい環境にあります。

この級友たちと、来年三年生としてよいスタートができるよう、三年生の零学期の今から、受験生として日々を大切に過ごしていけたらいいなと思っています。

## はじめての実習を終えて

創志学園高校二年 小林 桂子

私は、一月十四日から十七日の四日間、病院実習に行きました。実習に行ったことで改めて、自分の気持ちや夢を再確認できたような気がします。

初めての实習ということで緊張と不安でいっぱいでした。全体朝礼で代表であいさつをさせていただいたのですが、スタッフの方があたたかく迎えてくださり少し安心しました。

初日は病院の組織やしぐみについてオリエンテーションで説明をうけました。学校では習わない知識を得ることができてよかったです。

二日目は、病院の中を見学しながら設備や施設について学習しました。実際にレントゲンをとる機械を使う様子を見せてくださったり、学生の私たちのためにたくさんの方が協力してくれていることを実感しました。

三日目は、受け持ち患者様にコミュニケーション技術をさせていただきました。思っていることが上手く伝わらなかったり、逆に患者様が言っていることをききとることが

できず、自分の無力さに気づかされました。

四日目は、看護師さんの後ろをついてまわって見学しました。現場の看護師さんは歩くのが、とても速くてついていくのに必死でした。作業を効率よく、また患者様の負担を少なくする工夫があらゆる場面で見られました。

四日間という短い期間でしたが、たくさんのことを学びました。人間的にも成長できたのではないかと思います。実習を通して、自分と正面から向き合えました。新たな課題もできましたが、看護師になりたいという気持ちも強くなっています。これからも、学ばせていただいていることに感謝の気持ちをもって日々行動していきたいです。

## 去年の今頃は…

岡山朝日高校二年 久富 聖也

冬休みが終わって、三学期が始まっています。去年の今頃は、三月に控えていたイギリス研修という一大イベントに向けて僕は英語の勉強をしていた頃だと思えます。

今年はイギリス研修には参加しませんし、他にこれとい

った行事もありますが、その代わりに先輩方の控えている一大イベントがとても身近に感じられます。つい先日その前半ともいえるセンター試験がありました。それまでは、僕は先輩方の頑張る姿を見て、「大変そうだなあ。」とか「自分も一年後は先輩みたいに頑張っているのかなあ。」とかいうように思っただけであまり実感はありませんでした。しかし今は少しは実感があります。

僕は、先日センター試験があったということは、自分がそれを受けるまであと一年をきってしまったということだと気付きました。そして、僕はこのままで本当に大丈夫なのかと急に不安になりました。その不安は誰もが抱くのかもしれませんが、僕の場合は理系であるのに数学のせいでは成績が伸び悩んでいるという状況で、先生から理系の数学は復習する時間はあまりないと言われていたので、本当に不安になりました。そういうわけで僕は三年生になる前に数学の苦手を無くそう、と今思っています。

来年の今頃、「去年の今頃は、入試という一大イベントに向けて僕は数学の勉強をしていた頃だと思えます。」と言えるように頑張りたいと思います。もちろん勉強に関しては、「去年の今頃」で終わってしまったくないようにも頑張ります。

## 夢を語る

岡山城東高校二年 難波 千里

先日、弁論大会が行われた。各クラスから一人代表者が選ばれ、計八人の人が二年生全員の前で自分の訴えたいことを述べるのだ。

その中で私の心に響くものがあった。その人は、「夢は語れ、目標は叶えよ。夢を描くことは最も大きな原動力になる。」と力強く訴えていた。

「なぜ夢を見ることは簡単なのに、今まで大きな夢を持つていなかったのか。」ふと私は思った。夢を持つことは誰にでもできる。なのに、どうしてその夢をかかげることがなかったのか。その弁論を聞いて私は気づかされた。夢をかかげることを。

私の夢は幸せになることだ。小さな幸せではなく大きな幸せだ。愛に溢れた日々を送ること。具体的には、私のやりたい、好きなことを仕事にする。例えば、高級一流結婚式の経営、世界有数の高級宝石ブランドの経営、高級ホテルの経営、花屋さんやスイーツ店の経営もやってみよう。そして、仕事が終わり大きく、綺麗な白いお城みたいなお

家に帰り、晩ご飯を作って夫の帰りをゆつくりしながら待つ。大好きな人とおばあちゃんになるまで一緒に過ごす。沢山、旅行に行つて色々な国を訪れてその国の文化に触れる。外国の美しい海にも行ってみたい。このようなことが私の夢のうちのいくつかである。夢を描けば無限大に広がる。

しかし、私は夢は夢で終わらせず、絶対に叶える。夢を描くことは誰にでもできる。でもその夢を叶えるのはなかなか難しい。だから努力するのだ。努力は絶対に裏切らないと私は信じている。

私は普通科の高校へ通っている。毎日の生活に勉強は隣り合わせだ。だから、私は勉強をすることが夢につながる大きな一歩だと思っている。だからどんなに勉強が嫌になつても投げ出さない。勉強をすることは普通科に通う人にとって使命だと思う。今は辛くても将来幸せになれるように努力する。努力は絶対に裏切らないから。

来年は受験が待っている。この一年、どう過ごすかによって未来が左右される。この一年は本当に大事な一年になる。

私は焦っている。あと一年しかない。それに私は記憶力が悪い。だから覚えてもなかなか身に付かず、すぐに忘れてしまう。それゆえ、人より何倍も何百倍も努力しなければ

ばならない。天才と呼ばれるものは少ないが記憶力の良さ悪さは大きな差があると思う。だから私は不利なのだ。でも逆に言えば記憶力の悪さを知っている私は、記憶力が良い人よりも努力する。この努力することに、大きな意味があると思つている私は強いのだ。

「努力に勝る才能なし。」その通りだ。私は今年一年、努力してここから這い上がると思う。努力することが幸せな未来につながると信じて―。

## 一一六

倉敷古城池高校二年 木田 杏 奈

私は、高校に入学する前から友達に一年生の時はすごく楽しいけど、二年・三年生になると一年生の時ほど楽しくなくなると聞いていました。最近そのことは本当だな、とよく思います。今回はそう思った原因である、大好きな一六のことについて書こうと思います。

私の一年生の時のクラスは今も本当に仲がいいです。学校行事の後や、長期の休みの時には集まって遊んでいま

す。昨年の夏休みには、兎島の海でバーベキューをしました。肉をやいたり、焼きそばを作ったり、ご飯を炊いたり、火起こしも全部一―六皆でした。バーベキューをしなから、海で泳いだり、ビーチバレーをしたり、水風船で遊んだりしました。夜は、片付けを皆でして花火をしました。砂浜に寝ころがって星を見ました。ちょうどその日は流星群が流れる日だったのですごく印象に残りました。この海でのことはこの夏の一番の思い出になりました。

今はもう春休みに行く所を考えていてすごく今から楽しみです。これからもずっと一―六が大好きで、ずっと仲良くしていきたいです。

## 「締切」を考える

岡山城東高校二年 小林 遥

今回やまびこの原稿提出あったのか！とギリギリで気づき、慌ててこの原稿を書いています。さて、何を書くという所に、一つの英単語が浮かびました。「締切」という意味の、「deadline」という単語です。

英語の授業の小テストの範囲にいたこの単語は、おそらくそれほど頻出ではないであろうに、妙に頭に残っています。単語帳には締切という意味しか載っていませんでしたが、今一度辞書をひいてみると、

deadline：「名詞」

一．越えられぬ線《米》死線（囚人が越えると射殺される）

二．（新聞・雑誌の）原稿締め切り時間、（一般に）最終期限

（研究社 新英和中辞典）

とあります。ちなみに、「締切」を国語辞典の方でもひいてみました。

しめきり「締切・メ切」

一．締めたままにしておくこと。

二．（取扱期間などを）終わりにすること、打ち切ること。また、一定期間の最終の日時、締切日。

（角川国語大辞典）

同じ意味をもつ言葉なのに、これほどまでに原義に差があるとは。片や締めたまま、片や越えたら殺される線。英語圏における「締切」の恐ろしさが伝わってくるような気がします。

deadlineに限らず、言葉からその言語が生まれたところ

の価値観や常識にふれられることは色々あると思います。そういうことも含めて英単語帳にのせてくれれば、もっと覚えやすいのかなと思います。でも一番いいのは、英語の小テストなんてものがなくなることですな。

## 白井健三について

山陽女子高校二年 影 山 姫 花

最近、体操男子で注目されているのが白井健三だ。白井は二〇一三年九月三十日から十月六日までベルギー・アントワープで行われた体操世界選手権の種目別ゆかで、日本体操史上最年少の十七歳で金メダルを獲得した。それだけでなくゆかで二つ、跳馬で一つ成功させた世界初の新技に「シライ」という自らの名が三つもついたのだ。

私は彼の演技を見て驚いた。それはひねりの回数が他の選手に比べずば抜けて多いからだ。日本体操界のエース内村航平も「ひねりすぎて気持ち悪い」と言っていた。ゆかの最終タンブリングの後方伸身四回ひねりには圧倒された。彼がこのように多くひねれるのはトランポリンでの感覚

練習だそう。幼い頃から同じ体操クラブの子たちと遊びで何回ひねれるか競ったりしていたそう。そうしているうちに四回ひねりができるようになっていたと言う。

彼の凄い所はそれだけではない。それはどんなことでも緊張しないということだ。普通初めての世界選手権となると緊張すると思うが「自分を見せてやろう」と思うらしい。これが彼をここまで強くしてきたのだろう。私もこんなふうになりたいと思う。

二〇二〇年には東京オリンピックが開催される。あと六年後。もっと凄い選手になっていくだろう。彼の活躍に期待したい。

## 受験生に向けて

岡山朝日高校二年 日 名 絵里華

新年、あけましておめでとうございます。時がたつのはとても早いもので、やっと高校受験が終わったと思っていながら、あつという間に大学受験生になろうとしています。今まで「やまびこ」の原稿にも書いてきたようにずっと遊

んでばかりいた私ですが、さすがにそろそろちゃんと勉強しなくては…と思い始めました。

そこでまず、無駄な時間を減らしてその時間を勉強時間にあてようと思いました。最近の自分の一日を振り返ってみると、あまりにも寝すぎていることがわかりました。食べては寝て、時には携帯をし、そしてまた寝る…。まるでダメダメなニートのような生活ぶりでお恥ずかしいかぎりです。特に寒い冬は早起きが辛く、毎日学校に着くのも時間ギリギリという状態です。家に着くと学校、というよりむしろ登下校の疲れがどっと出て睡魔におそわれ、夢の中へ…。あげくの果てには昼寝（夕寝？）しているくせに夜寝るのも早いという始末。これは明らかに寝すぎですね。健康に良さそう、と思う方もいるかもしれませんが、寝すぎている人々の平均寿命は短く、理想の一日あたりの睡眠時間は七〜八時間なんです。私の睡眠時間はこれを大幅に上回っており、健康に良いとは言えません。

このように一日の大半を寝ている私がいきなり早起きして、朝に勉強しよう！と思ってもできるはずがありませんので、昼寝をなくし就寝時間を遅くして夜に勉強しようと思いました。（朝型勉強タイプのほうが良いと聞きますが…。）何日間か私は寝るのを遅くしてみました。すると、体が遅く寝るのを覚えたのか、日に日に睡魔はあまり来な

くなりました。そして昼寝も極力我慢して勉強時間にあてるくせをつけました。

そんなこんなで私は睡眠時間を減らし、勉強時間を増やすことができました。三年生になるとこれ以上自由時間や睡眠時間を減らさなければならぬと思うと挫けそうですが、いろんな誘惑に負けずに頑張りたいと思います。

## ウィンターカップ

岡山工業高校二年 小野龍司

僕が所属しているバスケットボール部は、今年冬の全国大会であるウィンターカップに出場することができました。県予選では、トーナメント戦で二回戦倉敷天城、三回戦倉敷古城池、準決勝商大附属、決勝玉野光南に勝って、ウィンターカップの出場権をとることができました。準決勝と決勝の二試合はとても厳しい試合だったけど、なんとか勝つことができました。

だけど、自分はケガをしてしまって試合も出れないし、練習も参加できませんでした。でも何かチームのために何

かしたくて、雑用などの一年生がする仕事を積極的にやりました。県予選ではユニフォームをもらえなかったけど、ウィンターカップの前にケガも治ってユニフォームももらうことができました。

そして僕は、残り少ない三年生との部活をやり切って、ウィンターカップの本番をむかえました。会場は東京体育館でも大きくて、アップですですごく緊張しました。それで試合は惜しくも負けてしまっ、僕も試合に出ることはできなかったけど、全国大会という大舞台に連れてきてくれた三年生にはとても感謝しているし、新チームになってもインターハイ、ウィンターカップと出場できるように努力していきたいと思いました。

## 一年間

倉敷天城高校二年 小 西 茜

新年あけましておめでとうございます。先日のお別れ会は部活の都合で出席できなくてすみませんでした。今年度もよろしく願います。

さて、月は二月となり卒業式、終業式が間近に迫った季節となった。天城高校は三月から新三年生のクラス編成となるので二年生でいられるのはあと一ヶ月もない。そこで今回、私は高校二年の年を振り返ってみようと思う。

この一年間は本当にあつという間だった。とても短く感じた。その理由に行事の多さと内容の濃さが挙げられる。まず高二となって最初の最も大きなイベントと言えば修学旅行だ。これはもちろん言うまでもなく、というか言葉では言い表せないほど楽しかった。何が楽しかったかというところには書ききれないほどあるので今回は省略しようと思う。二つ目の行事といえば体育祭、文化祭だ。学年が一つ上がるだけでこんなにも変わるものなのかと驚いた。私は文化祭でパフォ（踊り）部門に参加したのだがこれが最も大変なのだ。夏休みの補習期間は午後練、土日は一日練とハードスケジュール。その分先輩後輩の結びつきが強い。二年と学年が上がったからなのか今年先輩達との絡みが濃く、本当に楽しかった。また夏休みの間、受験勉強が忙しい中踊りの振りつけ、後輩の衣装作りと休む暇なく働く先輩達を間近で見て先輩の存在感を強く感じた。自分達が来年その立場となった時そんな頑張れるのか。と楽しむ反面、不安を感じた。

学校生活ではやはり去年と比べて格段に進路の話が多く



なつていった。友達と話し合うことも多く、自分はどうかしたいのかと初めて深く考えた年でもあった。

振り返ってみるとこれまで考えなかつた事を深く考えさせられたり初めて経験する事の多い年だった。だから短く、早く感じたのだと思う。あと少しでとうとう迎えてしまう高校三年の年。最高学年でありそして受験生でもある。この年は短く感じるだろうか。それとも長く感じるだろうか。受験という一年間の長い闘いで、やるべきこと、成長しなければならぬことが多くある。この年は私の中で大きな一年となりそうだ。一日一日を大切に、昇進できるように頑張ろうと思う。

## 欲

倉敷古城池高校二年 片山 遥

「欲」という言葉を聞くと、どことなく悪いイメージを持つてしまうのではないだろうか。私も、以前は欲にまみれた人を軽蔑してしまふような考えを持っていました。しかし、それは一つの見方でしか物事を見ることができな

かつたからこそその考えであると最近思うようになったのです。

なぜ「欲」という言葉に悪いイメージがついてしまったのか、はつきりとした答えは分かりませんが、社会全体の先入観のように思います。つまり社会が「欲」に悪いイメージをつけたのだということです。

みなさんは将来の夢を持っていますか。いや、何なら身近な夢とか、したいことでもいいです。私の将来の夢は特別支援学校の先生になることです。また、身近な夢という：夢というか目標かな？私は嵐のファンなので「嵐のコンサートに行くこと」です。ところで、みなさんよく考えてみてください。こういった夢や目標は「欲」の言い換えであると思いませんか？「先生になりたい」「嵐のコンサートに行きたい」「〜したい」というのは「欲」であると思います。人間は「欲」とかイメージが良くない言葉を無意識に「夢」とか「目標」とか言うイメージの良い言葉に変えてしまつていくんですね。これは面白いなあと思ひました（笑）

つまり将来の夢のために努力する、ということとは「欲」のために努力するという風に言い替えることができます。

「欲」というのは自分のしたいことを達成するための必要不可欠な材料だと思います。「欲」を持つことは悪いこと

ではありません。むしろ良いことです。「欲」をたくさん持って自分の夢に一步でも近づけたらいいなあと思いました。

何だか文章がまとまらずいけません(笑) 二年生も終わってしまいます!あと一年悔いの残らないように勉強に部活に頑張ります!

## 部活動の思い出

岡山芳泉高校二年 小野 雅史

八正会の皆さん、明けましておめでとうございます。今回は部活動について書きます。

僕は二年間、ESS(イングリッシュ・スピーキング・ソサエティ)という部活動に所属してきました。入部する前、僕はこの部活動は英語でゲームをしたりコミュニケーションをしたりするものだと思っていましたが、入部してまもなく、「ESS」とは名前だけで、ほぼ「英語デイベート部」だということを悟りました。僕は英語や人前で話す力を伸ばしたかったので、英語デイベートをやってみよ

うと思いました。一年生の時は、二年生の先輩の活動を見て学ぶことが多かったのですが、初めて自分が出場したデイベートの試合では、相手が何を言っているのか、自分が何をすればよいのか分からないほど焦っていました。しかし、何度もデイベートの試合に参加したり、見たりする中で、少しずつ試合の内容や自分が何を言えばよいのかも分かるようになりました。

昨年は、部活の中心学年として、再び英語デイベートに取り組むことになりました。しかし、八月に参加した岡山県の英語デイベートの研修会では、練習試合で二試合中、二試合とも負けてしまいました。そして、僕たちはそれから滋賀県や広島県のチームの皆さんと何度も練習をしました。この経験によって全国大会に出場する二チームを決定する岡山県大会では、チーム全員が落ち着いて試合に臨むことができ、幸運にも、県で第二位という順位をとることができました。決勝戦では城東高校に負けてしまいました。この結果は本当に誇れるものだと思います。

そして、遂に昨年十二月十四日と十五日、僕たちは「第八回全国高校生英語デイベート大会」のために、長野県へ行きました。全国の有名な高校や優勝経験のある高校のチームとデイベートができてとても光栄なことでした。結果は、一勝することしかできませんでしたが、この大会

は、僕にとって大きな価値がある、忘れ難いものとなりました。

二年間の英語デイベートの活動を通して、僕は英語が、そしてデイベートがより好きになりました。最初は少し苦手でもあった英語デイベートですが、高校を卒業しても何かの形で携わっていたと思います。そして、そう思わせてくれた部活動の仲間、顧問の先生方、今までデイベートをいっしょにした全てのチームの皆さんに感謝したいです。

## もしも六億円当たったら

倉敷工業高校二年 清水 晃 希

ここ最近宝くじのCMを見ることが多くなったと思う。宝くじは最高六億円などといった非常に夢のあるものだ。授業の暇なときも僕が六億当たったらどうしようかと考えることがよくある。六億当たればとりあえず四億ぐらい貯金しようと思う。大きな家に住みたいので三階建ての家を建てようと思う。そして無駄にエレベーターもつけたいと思う。家を建てたら高級な家具をたくさん買いたい。玄

関には高そうな絵を二、三枚並べときたい。そして服屋に言って「ここからあそこまでの服全部ください」と言ってみて服を選ばずに購入したい。一度でいいから言ってみてほしい。まあ全て僕の妄想にすぎないから現実はその甘くない。今の僕は朝の学校で百円のジュースを買うのを毎朝悩んでいる。服だって少しでも安くてもいいものを買おうとするし、お金を使いたくないように財布にはあまりお金をいれないように心がけている。でも僕は今の生活にすごく満足している。僕を支えてくれる家族がいて一緒にバカやれる友達がいる。僕はとても幸せ者だ。六億なんて額は妄想するくらいがちやうどいと思う。もし六億が当たったお金もちにでもなったりしたら何か大切なものを失いそうな気がする。僕は人並みよりちよつと稼げたらそれでいいと思う。まあこんなことを思いながらも将来六億当たったことを願って宝くじを買っているような気がする。(笑)

とにかく今は周りの人に感謝して二〇一四年も楽しんでいこうと思う。

## 新年に思うこと

就実高校二年 萩原 萌

私は今年で受験生になります。まだ、行きたいと本気で強く願う大学はないです。けれど、あえて挙げるなら養護教諭になりたいなと漠然とですが思っています。しかし、この程度の気持ちではいけないとも考えています。そして、そのせいで最近はいつもぐるぐると悩み続けていたので、私は養護教諭がどんな仕事をするのか、もつと知らなければならぬと考えました。

養護教諭の仕事は主に五つあります。ケガや病気の生徒の応急処置、学校環境の衛生調査、保健指導、健康診断の管理、保健室相談です。近年ではいじめの問題が多発しており、そこでいじめ対策としてヘルスカウンセラーを加え、生徒・児童の心をいち早く気づけるようにしています。例えば、教室には入ることはできないが保健室登校ができる子のケアなどがあります。

ここまでの大まかな表面だけを見てるとなんだか私にも出来そうな気がしてきます。が、初日に全校生徒の名前を覚えなければならなかったり、書類は重要なものばかり

で、いくら枚数が多くても間違えることができないものばかりだったりと予想以上に大変そうだなと感じました。そもそも楽な仕事などこの世にあるわけはないのですが、はっきり言う私の考えがとても甘かったことに気づかされました。

だから、養護教諭の夢をあきらめるのかと言われたら「考え中です。」としか言いようがないです。ふらふらした考え方で悪いのですが、やはりこれが私の結論です。あくまで、ここにあげた養護教諭は一つの選択肢にしか過ぎません。例えば、農学部全員が将来農家になることはないでしょう。私たちが仮に高校生の時に既に夢をもっていたとしても、(夢を持っている人には大変失礼かもしれませんが)必ずしもそれになれているわけではないでしょう。夢は今からある程度だけ絞って大学生という時間を活かして深く考えていきたいと思えます。

最後になりましたが、今年もよろしく願います。

## 高校生活

岡山朝日高校一年 藤原 淳平

高校に入学してから早一年が経ちました。四月の入会式で先輩方にお聞きしたとおり高校生活というものは中学生活とはくらべものにならないほどにとっても短く感じました。そんなあつという間に過ぎてしまったこの一年の事を振り返りながらまとめたいと思います。

入学当初は知っている人も何人もいたので正直あまり緊張などはありませんでしたが、しかし、勉強に関しては入学当初はとても大変でした。特に、日々の予習が一番大変であったらうと思います。慣れるまでなかなか時間がかかりました。大変だったのは予習だけだったわけではなく授業もまたそうでした。授業は一言で言うところにかく「はい」の一言に尽きます。授業の進むペースがはやくてなかなか復習もできませんでした。そんな感じで早々と一学期は終わってしまいました。

夏休みは補習などもあり中学の時よりも大変短かったですが、前回のやまびこでも書いたように富士登山に行くことが体験でき本当に良かったです。

そして二学期はたくさんの行事がありました。その中でも一番記憶の中に残っているのは朝日祭です。朝日祭とは、文化祭と体育祭をまとめたものなのですが、夏休みが終わってからその朝日祭まで二、三週間しかないので文化祭の出し物の準備はとても忙しかったです。またその中で体育祭の練習もしなければならなかったのですが、あまり練習する機会はありませんでした。そして、むかえた朝日祭はものすごく楽しいものでした。どのクラスもクラスメイトの皆と協力をして頑張ってきたことが一目瞭然でわかりました。その中でもやはり今年が最後ということもあって最上級生である三年生は一段と張り切っている様子でした。自分達が三年生となった時もあんな風でいたいなあと思います。

というように、この一年間ははやくはあったものの、たくさんの方がいました。確かに忙しいと思ったりはしますが、せつかくの高校生活ですので来年はもっといろいろなことをしていきたいと思います。

## この一年間を終えて

倉敷古城池高校一年 酒 井 彩 夏

私は、目標通り勉強を頑張ることができました。入学してすぐの頃は、なかなか生活リズムがつかめず課題をすることに精一杯で、成績もあまり伸びませんでした。しかし、夏休みに入る少し前からやっと生活リズムをつかむことができるようになり、成績も伸び始めました。そして私は、一生懸命頑張ればすぐではなくても、必ず結果はついてくるということを学びました。毎日、コツコツ努力すること、少しずつ自分の力がついているということを知ることができ、自分も頑張ればきつとできる！と思えるようになりました。ときどき、勉強するのが嫌だと思うこともあったけど、この言葉を思い出しながら自分を励まして頑張ってきました。私がこの一年間頑張ることができたのは、この言葉のおかげだと思います。

私は、部活動を一生懸命頑張るというもう一つの目標も実行することができました。私は華道部の活動で、何回か花を生けているうちにコツがつかめるようになりました。花の種類によって、生けやすかったり生けにくかったりし

て難しいけど、先生にアドバイスをもらいながら楽しんで活動しています。同じ部活の先輩や友達と過ごしている時間は、とても楽しくて特別です。これからも、そんな仲間を大切にしながら部活動を続けていきたいです。

二年生になっても、この調子で自分のペースを大切に頑張っていきたいと思います。

## 操山高校野球部の一員として

岡山操山高校一年 佐 伯 拓 馬

僕は野球部です。今は、試合ができないので、走り込みやトレーニングなど苦しいメニューが続いています。練習終わりには気持ちが悪くて、筋力も体格もレベルアップしているのを実感しています。きつい練習のせい、辞めていた人もいました。人は家庭や生まれつきの事情があったりするので責めることはできません。ですが、僕は野球が好きですし、道具をそろえるだけでも母親には負担をかけています。だから僕には辞めることなど頭もよぎりません。ただ「上手くなりたい」「勝ちたい」という思いでひた

すら全力です。そうは言っても今の時期にはメンタル面で厳しくなる時だってあります。そんな時は、「先輩に、母親に、いいプレーを見せたい。」「あと〇〇しかないから頑張ろう。」こう自分に言います。こういう負けそうなときは、前向きになることが必要で、何よりも夏の甲子園につながる、勝負の日々であると思います。冬はもう半分ほどです。勉強もする時間もあり、学力向上期間です。今の僕は「積み立て」の時期だと考えて、毎日がむしろに野球、勉強に絶対に屈しません。ここで負けたら終わり。自分とはとことん厳しい自分を持つ。これが僕の理想です。

## 身を持って体験した大切な事

倉敷青陵高校一年 岩 田 真 央

私はこの一年を通して、ある大切なことを学びました。それは、体が一番大切だということです。去年の夏頃からどうしてか今は分かりませんが、食べる量が減り、いつしか小食になっていました。みるみる体重は減り、自分では気付いていませんでしたが、周囲の人々に心配されるよう

になりました。

その頃から、生活面で、何をするにも体に力が入らず、大好きな体育も、そのせいで面倒になったりもしました。勉強への集中力も、落ちていた気がします。

そんなへとへの毎日を送っていると、ある日を境に、「もつと食べないと」という気持ちがありました。なぜだか分かりませんが、それまでとは違って、食べても食べても足りなくなるようになって、これは体がもつと栄養を欲しているサインなのかもしれないと、だんだん危機感を感じて、それからはおながすいたらとにかく食べるようになりました。

するといつしか、もとの大食いに戻って、入学前のように食べることが楽しくなって、少しずつ体が元気に戻っているような気がしました。体重もちゃんと少しずつ増えていき、体のだるさもなくなり、前の状態を思い出すと、本当によく生活してたなと思います。

今は朝昼晩しっかり食べて、楽しい日、を送っています。最後に、私は、何をするにも健全な体があつてこそなのだと思ふことができ、これからの人生にも役に立つ教訓だと思います。一生忘れません。

## 部活と勉強と

玉野光南高校一年 三宅 晟

四月のトンボ本社での入会式からもう十ヶ月が経とうとしています。ついこの前入会したような気がしますが。

フェンシング部にはもうかなり慣れてきて、今では先輩も倒せるようになってきました。しかしまだ覚えることは沢山あって、道具や剣の整備などわからないことだらけです。今の一年生は合計男子四人しかおらず、僕も含めまだまだ未熟なもので、先輩に頼らないと何もできない状況です。あと二ヶ月と少しで後輩も入ってくるというのに、いろいろと心配が尽きません。

さて、今は冬ですね。そんな訳でお約束通りうちの部活でも「冬トレ」なるものがあります。走りこみ・筋トレ・打ちこみとこんな感じですが、普通に疲れます。

「もういやだ……」  
何度思ったことか。特に体育の授業で持久走をやってからの走りこみは足と心が折れそうでした。そうしていくつもの疲労と筋肉痛を乗り越えたわけです（たまには妥協もしましたが）。実は約一週間後の二月初めに試合を控えてい

るのですが、これは冬トレの結果が出る大会なので、どれほど体力や筋力がついたか確かめたいです。とりあえず自分のいけるところまでがんばります。

このように僕の学校生活は部活が中心で、平日でも九時や十時まで練習（自由参加ですが）することがあるので、授業中は、睡魔との戦いです。（汗）毎日の課題をこなすのは大変ですが、今のところ課題はちゃんと出しています。  
ブラスケッチ  
+aの勉強もできればよいのですがなかなか難しいです。どうにか部活と勉強を両立させる、これを目標にがんばっていききたいと思います。

## 一年の計は一月二十一日にあり

岡山一宮高校一年 河本 柚月

学校で、今年の抱負を考えることになりました。執行部の友人と色々考えた挙句の果てに、今年の私の抱負は「新世界の神になる」に決定しました。最早野望の域です。ちなみにそれと同時に「新しい宗教をつくる」という目標も課されました。少しでも神になりやすい環境を自ら整える



ことができます。提案してくれた友人にお礼は言いましたが、恐らく実現することはないでしょう。来年はもう少し、現実を見たいと思います。

一年の計は元旦にあり、とよく言われますが、毎年元旦は忙しくて計画をたてる間はありません。課題もあるし、あいさつにも出掛けるので計画をたてることができません。ということ、今から今年の計画をたててみようと思います。

まず、抱負に沿って考えてみました。四月に新入生を勧誘して宗教団体設立。五月に新メンバー入団。……できないことはなさそうなので、もう少し考えてみます。

六月、別の宗教団体と抗争勃発。数人の仲間の裏切り等あったらドラマチックですね。七月、団体との和解。合併。八月、夏休みにつき休団。九月、文化祭を楽しむ。女装コンテスト観戦。数ヶ月もした頃にはすることがなくなり、十月一日をもって解散。

とんでもないですね。絶対やりません。真面目に考えてみました。

まず、上半期。文化祭の準備が忙しい時期なので、たくさん仕事があります。私は生徒会でカメラ係で、文化祭で撮影をするので、一年前半の予定は「カメラの機能を知りたいと思います。約一年、カメラを使いつづけて

いるのですが、まだ全ての機能を知りません。全て解明し、行事ではかっこいい写真を撮りたいです。

次に下半期。九月の文化祭が終わると当分暇です。何もすることがないので「新しい取り組みを始める」ことを予定にします。執行部では、一二年生が終わると流れで引退（一応退任の式はありますが）になるので、その前に何らかの爪痕を残したいと思います。

ここまで書いて「これで完璧！」と思いましたがよく見ると勉強にノータッチでした。学業はいつも全力で、ということで良いことにします。

こうして未来を夢見られるとは幸せなことだと思います。毎日元気に学校に通えるのも有り難いことです。その幸せにこたえられるように一日一日大切に生きていきたいと思っています。

## 新人戦を経験して

倉敷古城池高校一年 吉川 智也

一月の半ば、僕は高校生活の部活動で新人戦を経験しま

した。三年生が引退してからは練習試合や公式試合、とはいつても県大会ではなく地区大会でした。

六月に三年生が引退し、この七カ月の間にウィンターカップという試合がありました。この試合は県大会ですが、いろんな学校ではまだ三年生が残っており全力を尽しましたが、歯が立たなかったのを覚えてます。その悔しさを思いに練習をしてきました。

十一月、新人戦の地区大会が始まりました。初めてという事で緊張したけど、なんとか県大会のキップを手に入れました。試合後も変わらず練習に取り組みました。

そして新人戦当日、自分の持っている力を出したけど、力に差があり敗戦しました。

負けたとしても、一試合の負けを次の課題作りの材料とし、今年より来年より再来年と成績を伸ばせるように今できる事を一つ一つ大切に、もっと上手くなるために努力します。

## 二年生になる前に

岡山芳泉高校一年 松村 優

私は若干焦っています。高校一年生がもう終わりに近づいていること。今のままの生活を続けてもいいのか。どうやらこのままだといけない気がするので、自分のことを振り返ってみたいと思います。

まず、いつも時間がないと感じていること。日々の生活の中で多くの時間を費やしているのは何なのかと考えていた時に、重要なことに気付いてしまいました。それは、携帯をいじっている時間がとても長いということです。その時間のせいでおこななければならぬことややりたいことに使う時間が少なくなっていました。例えば平日、学校と部活が終わり夜には自由に使うことのできる時間があります。私はたいてい携帯をいじりながら次の日までの課題をこなし、それが終わると寝るか、また携帯をいじっているかという過ごし方をしています。課題はただこなすだけで全く身につかないだけでなく、予習や復習をするべきはずの時間が潰れてしまっています。このまま二年生に突入すると成績は下がり続け、行きたい大学へも行けなくなっ

てしまいます。だから、一年生のうちに限られた時間をうまく使えるよう、悪い習慣を改善していきたいです。

そして部活のこと。前回のやまびこでも部活のことを書きました。前回の自分と比べて勉強との両立は未だにできていないのが現状ですが、メンタルの面で少しは強くなれたように思います。ミスをして「次は同じことを繰り返さないぞ」と思えるようになり、悪い意味でミスを引こずることはほほなくなりました。また、私は平日は必ず朝練に行くように努力しています。最近始めたばかりの朝の外周も継続してやっていきたいです。でももう少し多く朝練の時間が欲しいので早く起きて学校に行くようにしたいです。そして私のこれからの一番の課題は「考えてプレーすること」です。複雑な練習メニューをしている時、何も考えてないがゆえに間違えてチームに迷惑を掛けることがよくあります。考えて練習するのとしなのでは上達のしかたも変わってくるのでとても重要なことです。

二年生になる前に自分自身を振り返って改善しないといけない部分が明確になり、また新たな目標が出来ました。目標に向かってがんばりたいです。

## 私の所属する部活動について

倉敷天城高校一年 水川 碧

私は高校で文芸部という部活に所属している。かなり知名度が低く、学校でも「文芸部って何してるの」とよく聞かれる（悲しいことに）。文芸部では絵を描いたり小説を書いたりしている。二ヶ月に一度部誌を発行し、学校の皆さんに読んでもらう機会を設けている。……とまあ、華やかに活動している文化部とは言い難い部活ではあるのだが私は楽しく活動をしている。

私は中学校の時には陸上部に所属していた。短距離走者で、走ることも嫌いではなく同じ学年の友人と毎日毎日練習していた。しかし、私はもつと楽しくやりたかったのだ。時には練習を休んで気の合う仲間たちとゆっくり雑談にふけりたかった。だが実際には練習漬けの日々。正直、私の部活への思いと仲間たちの思いは異なっていたのである。私の学校は中高一貫校であり、皆は高校も陸上部に入ると言った。

「これからも皆で陸上をしよう。」

厳しい練習を一年生からずっと一緒にやって来た仲間。

皆のことはクラスの誰よりも信頼していた。けれども、やはり私は陸上部に在るのはしんどい、と感じ、同学年の中で唯一退部した。

恐らく、私が今文芸部で楽しく活動ができているのは中学生の時の経験があったからだろうと思う。放課後ゆつくりと雑談を楽しむことができる空間は、中学校の時にはなかったことである。地味で、知名度の低い部活ではあるのだが、私は今のこの日々が大好きで充実している。そしてまた、この日々は陸上部にいた頃を経て得られたものである。今は中学校の時は良い思い出で、これからも、大好きな空間で素敵な日々を送っていきたい。

## 昨年の振り返りと今年の抱負

岡山芳泉高校一年 安井 佑果

高校生になって、もう一年間が過ぎようとしています。中学三年の頃、受験勉強に必死だった頃がとても懐かしいです。昨年は、私にとって特に新鮮で楽しい一年でした。

特に、この一年間を振り返って感じたのはたっくさんのい

い人達との出会いがあった、ということ。八正会のみんな、学校でのクラスメイト、部活動の友達・先輩など、人も私に刺激を与えてくれて少しだけ前より成長できたと思います。この出会いを大切にして今まで私がいろいろな人からうけた優しさや温かさ・教を今度は私がいろいろな人に伝えてあげたいです。

また、勉強面では課題の量が中学の頃とくらべものにならなかつたり内容が難しくなつたりでとにかく苦勞させられました。しかし大変だからこそ達成できた時の爽快感はたまりません。最近勉強が全くできていないので反省しています。再びあの爽快感を味わうために毎日コツコツ頑張りたいです。

部活動では練習がきつくて何度も嫌になることがあります。ですが「やめたいな…。」と思つたことは今まで一度もありません。きつと憧れている先輩やばましあえる同級生がいるからだと思ひます。部活動でダッシュをしている時、最初の頃は自分の限界がみんなよりだいぶ低くて落ち込んでいた時期もありましたが次第に限界のハードルが上がつていつているのが分かつてとても嬉しかったです。これからもどんどん自分の中のハードルを上げていきたいです。また部活動でできたえた精神面での強さ(まだまだ強くないけど…)を勉強面でも活かせるらいいなと思ひつています。

さらに学校行事は充実していてとても楽しかったです。玉野研修、蒼碑祭、球技大会、スキー教室：などたくさんありました。これらの行事を通してたくさんの人との壁がなくなつて仲が深まり「やっぱ行事っていいな。」と改めて感じさせられました。

最後に!!!二〇一四年の決意表明をさせていただきます。ずばりっ!「努力の継続をすること」です。どんなことでも努力を継続していたら必ず結果が表れると思うからです。昨年よりも一歩成長し、周りのみんなに驚かれるようなカッコいい人になれるよう頑張ります。

## 一年間をふり返って

岡山工業高校一年 高橋 聖

もうすぐ高校一年生が終わって、二年が始まります。中学までは美術が週に一回しかなかったけど、高校ではデザイン科に入つて、思ったより一週間の専門科目の授業数が多くてびっくりでした。月曜に2時間、火曜に2時間、水曜に3時間、金曜に3時間の計10時間もあります。それに

ほぼ毎日、課題が大量にでて大変でした。いつも、一つの課題が終わる度に、次は計画的にやろうと思いますが、結局は、提出間際に焦つてギリギリになつてしまします。二年生になつたら、先輩方や先生が言つてたんですが、専門科目の授業が増えて、課題ももっと忙しくなるらしいので、今のままではとても無理だなと思つています。なので、来年度こそ、今年度の失敗を活かして計画的に課題に取り組めるように頑張りたいと思つています。

また、普通教科の方も頑張りたいと思います。今年度は課題とかで全然勉強とかできてなくて、入学時より成績が少し下がつてる感じがします。せっかく奨学金も頂いてるのにこのままではいけないので来年度は普通教科も頑張つて成績を上げたいです。

## サマーキャンプに参加して

玉島高校一年 宇野 美 咲

私は今、理数科に通っています。その行事の一つとして、夏休みを利用して西表島で行われたサマーキャンプに参加

しました。希望者の半分ほどしか行くことができないと聞いたので、どうせ行けないだろうと軽い気持ちで応募したら幸運にも行けるようになりました。

西表島へは飛行機で行きました。飛行機に乗るのは初めてだったのでとても怖くて緊張しましたが、海や空がとて綺麗で感動しました。また、西表島は岡山よりもずっと南にあるので暑いだろうな、と思っていましたでしたがカラッと涼しいほどでした。

四泊五日のキャンプの中で、シュノーケリングをしてサングラスを観察したり、カヌーを漕いで干潟の生き物の観察をしたり、色々なことをしました。普段の生活だと絶対できないことなのでとても面白く勉強になりました。

そして、その四泊五日の中で自分達で決めたテーマで行った研究の成果を、秋に東京と兵庫で発表しました。大勢の人の前で発表するのはとても緊張したけれど、とてもいい経験となりました。

今回のサマーキャンプに参加して色々なものを自分の目で見ることができ、視野が広がったと思います。またこのような機会があれば積極的に参加したいです。

## 一年間を振り返って

倉敷青陵高校一年 蘆原 薫

高校に入学して、あと二ヶ月で二年生。入試に合格し、新しい制服に身を包み、校門をくぐったのがついこの間のような気がします。そんな私ですが、この十ヶ月、思い返せば色々なことがありました。初めての高校のテスト・模試で惨敗、怒涛のテスト地獄の中、大体月に一回のペースで泣いていました。何度心が折れそうになったか分からないけれど、そんなときにいつも心の支えとなったのが友達・先生の存在でした。いつも助けられてばかりだけど、とても信頼できる仲間ができていつもは思うことが少ないけど、この高校に入学できてよかったなって思います。部活では、天文部・生活科学部・生徒会執行部の三つを兼部していて、十月中旬くらいに生徒会会長・副会長選に出て、副会長に選ばれました。十月や十一月は、副会長という職の名にプレッシャーを感じ、いつも胃が痛くて活動日に行きたくないときが続きましたが、生徒会長やもう一人の副会長、先輩方や一年の仲間に協力して頂き、何とか続けられています。任期は半年なのですが、次回の生徒会選挙まで

仕事を頑張りたいと思っています。天文部・生活科学部は活動日が不定期ですがとても楽しいです。天文部では十二月にふたご座流星群を見に美星に行きました。とても寒かったけど、たくさん流れ星が見れて満足でした。学校行事については、青陵祭（文化祭＋体育会）や球技大会が印象に残っています。青陵祭では各クラス・部の展示がとてもユニークで、模擬店も手の込んだものが多く楽しかったです。しかし、生徒会の仕事や天文部の展示（プラネタリウムをつくったそうですが、制作には関わりませんでした）の担当や、生活科学部のカレー・ゼリー作り・販売で、ステージ発表が見れなかったのが心残りでした。球技大会ではバレーの担当でしたが、練習中に頭や眼鏡にボールが当たりイラつくこともあったけど、楽しかったです。（ちなみに男子はソフトで二グループに分かれたうちの一つが学年一位になりました）八正会では、いつも何かを忘れてたり、人見知りしたりしてご迷惑ばかりおかけして申し訳ありませんでした。とても楽しい充実した研修ばかりで嬉しいです。来年は人見知りをできるだけなくすことと、忘れ物をしないことを努力します。読みにくい文章で作文らしい作文にならず長つたらしくてすみません。そして、最後になりましたが毎月多額の奨学金をありがとうございます。

すごいな！

岡山芳泉高校一年 黒 住 美恵子

「きつとこの世界の共通言語は英語じゃなくて笑顔だと思う。」

この言葉はシンガーソングライターの高橋優さんの歌の中に出てくる言葉です。

私がこの言葉と出会ったのは、高校のクラスメイトの子が高橋優さんが好きで、ちよつと聴いてみよ、つと思つたのがきっかけです。

この言葉、というか歌を聴いた時、ああ、確かなあ〜というか、深いなあ〜というか、とにかく感慨深かったです。世界中の人々全員が全員英語を話すわけではないし、他の言語を共通言語として使っている一部の地域の国々もある。けど、笑顔は世界中の誰もが繋がる事ができる方法です。当たり前だけど気付かなかった言葉で、それに出会えてよかったと思います。私も笑顔でいろんな人たちと繋がっていたいので、これからも笑顔でいたいんです。あと平和ボケかもしれないけど、世界中の人々全員が全員笑顔になることができなくても、それに近付けるように一人でも

多くの人々が笑顔になったらいいなと思います。

高橋優さんの歌は他にも深いものがありました。まだあんまり聴けてないけど他にもいろいろ聴きたいです。みなさんも聴いてみて下さい。

言葉ってすごい(´。´)／

## 二年生に向けて

瀬戸高校一年 檜原大毅

一年という月日は短いものでつい最近したように思える入学式からはや九ヶ月たちもうそろそろ後輩を迎えるような時期になってきました。という事で二年生に向けての抱負について書きたいと思います。

僕は九ヶ月前、中学三年の時に目指していた念願の瀬戸高校に入学することが出来ました。最初はすごく緊張していたのを思い出します。

この九ヶ月を振り返り、入学してから目の前にするものすべてが初めてすることで、あつと言うまに過ぎていきました。ですが瀬戸高校ではすぐに友達が出来、とてもクラ

スのみんなと仲良くすることが出来て嬉しかったです。

そして僕は高校に入学したときに一つの目標を掲げて頑張ってきました。それが、瀬戸高校の目標にもなっている「文武両道」、という部活に勉強どちらともバランスよくやって行くという事でした。そしていざ瀬戸高校に入学してみるとやはり中学校とはまた違い勉強も難しくなるなか、部活と勉強の両立がとても難しくなってきました。

なのでこの経験を今後の生活に生かしていき、僕の最初からの目標であった、「文武両道」部活と勉強の両立をしっかりやって行きたいと思いました。

## 「かもめ食堂」

岡山東商業高校一年 合田紗也

学校が終わって家にひとりでいる時、借りていたDVDを見ました。二〇〇六年に公開された映画です。名前は「かもめ食堂」。フィンランドのヘルシンキという街が舞台で、そこで日本食の小さな店から始まり、年齢も性格も生い立ちも違う三人の女性が奇妙な巡り合わせでかもめ食



堂に集まり、のんびりゆったりと交流を繰り広げていく話です。

よく分からないけどその一日で三回も見ていました。何で三回も見たのか…。それだけそばに置いておきたくなるような話なのかな?と思うことにしました。

「かもめ食堂」の舞台、フィンランドに興味を持ちました。色合いが淡く、薄い水色や白、壁や料理道具や道がともいい雰囲気をつけていて、そこに行きたくなりました。北欧の雑貨やインテリアはよく雑誌で見て、いいなあ、と思うことはありましたが、映像の中に映る北欧のモノはとて素敵に思えました。人を素直に見せてくれる気がして日本のモノとは違う魅力があるのかな、と思いました。

そして気づいたことがあって、私はやさしくてのんびりして食べ物大切に作る映画が好きだなと気づきました。今までは日本のどこかが舞台だったのですが今回初めて外国での物語を見ました。外国で食べる私たちには馴染みの焼き鮭や、からあげ、おにぎりはとても素朴ですますます美味しそうに見えました。

そして私は決めました。将来フィンランドに行くことを!!淡い色やマイルや街の市場、美味しい食べ物を確かめに行きたいです。実際は、そんなにほのぼのしていないのかもしれないけれど、日本とは違う文化を経験したいです。

素朴な色やモノ、空気を写真に収めるため、いつか絶対フィンランドに行きます!!

## 高校生活

岡山朝日高校一年 濱 田 恵理香

高校生になってあつという間に時が過ぎ、はや一年がたとうとしている。中学生の頃に思い描いていた高校生活とは違い、ほんとうに日々慌ただしく生活している。

私は学区外入学だったため、中学からの友達もいなくて初めは緊張の中で過ごしていた。慣れない生活を送り、毎日予習復習に追われて、自分の自由な時間をとることもできずに心の余裕すらなくしていた。

しかしクラスにもなじめて、たくさん仲間ができた今なら自分の時間をとり、心の余裕もつくれることができるだろう。

私は三つのことを頑張ろうと決めている。一つめは習字である。今は漢字規定・漢字随意・かな・ペン字の四つに取り組み、練習を重ねている。自分の納得のいく作品をつ

くり、色々な展覧会にも出品していきたい。二つめは部活である。私が入部しているダンス部では日曜日以外の週六日、大会前には夜遅くまで練習している。最近は三年生を送る会や総文祭のテーマ決めなどの話し合いをしている。また、基礎のトレーニングを見直してダンスに必要な柔軟性や筋力をつけるために努力をしている。一つの作品をみんなで作くりあげる達成感を味わうことができるように頑張っていきたい。三つめは勉強である。三学期最後の学年末テストでは自己最高点がとれるように復習をしっかりとしてみたいと思う。自分のたてた目標に向かって努力し、達成できるように頑張っていきたい。

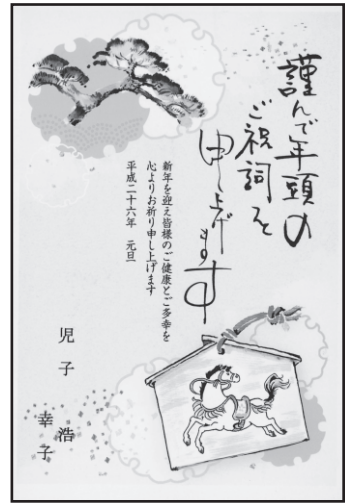
# 年賀状



●昭和55年度卒 宮田 正美



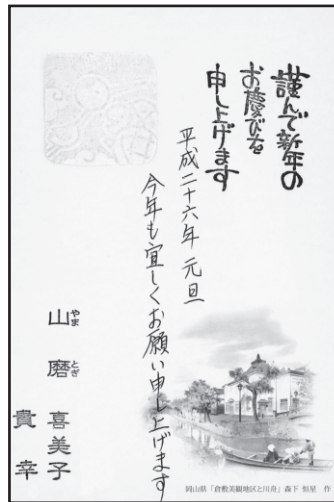
●平成8年度卒 狩野 真由美



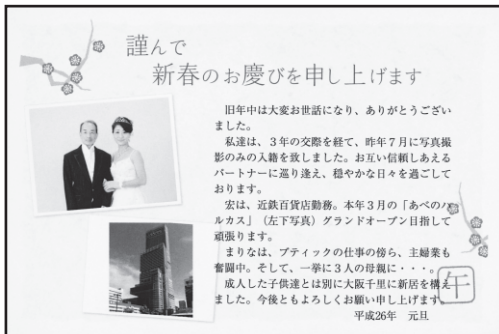
●昭和37年度卒 兒子 浩



●昭和47年度卒 難波 弘行



●平成25年度卒 山磨 貴幸



●昭和49年度卒 長田 宏



●平成6年度卒 宮川 由佳子

# 年賀状



●平成13年度卒 近藤 弥生



●平成2年度卒 吉澤 悦子



●平成1年度卒 河上 敦



●昭和62年度卒 日下 天



●昭和60年度卒 垣内 顕治

## ～ 事務局よりお願い ～

- ① 会員登録がまだの方は、是非登録をお願いします。登録には、パスワードが必要です。パスワードは事務局が発行しますのでご連絡下さい。
- ② 卒業や結婚、転勤等で引っ越された場合は、必ず事務局まで転居先をご連絡下さい。巻末に「住所変更連絡はがき」を添付していますのでご利用下さい。また、八正会のホームページ (<http://www.hasshoukai.or.jp/>) のお問合せ欄からメールで送っていただいても結構です。

八正会

検索

## 編集後記

『輪・和・倭・わ』

昨年を象徴する漢字一文字は、「輪」になりました。2020年の東京五輪（オリンピック）の開催が決まり、人の輪・国々を結びつける輪・絆やつながりを意味しての一文字となったのでしょうか。「輪」というと子どもを育てる学校（教師）と家庭（保護者）が両輪となって子どもを教え、育まなければならないとよく言われます。学校教育と家庭教育とで環境やねらいは違いますが、子育ての方向性としては一致し、協力していかなければ教育の効果が期待できません。岡山市では、市民協働による自立する子どもの育成を推進するため、家庭・学校に加えて地域社会や事業者にも責務を果たしてもらおうと、『岡山っ子育成条例』を平成19年度から施行しています。輪が4つに広がり中心にすえた子どもの自立を市民協働の力で高めようとしています。

「和」というと平和・和解・和食といった言葉が浮かんできます。新明解国語辞典によると「和」の意味は、相手の言い分・立場を大幅に認め、譲れるものは譲り合うこと、とあります。つまり平和になろうとすると、お互いが相手の立場を大幅に認めるわけで、自分の言い分ばかり声高に言う昨今の諸外国の様子は、平和な世界をめざすという観点からは不安を感じずにはられません。「和の心」というと、やはり今年のキーワード「おもてなし」でしょうか。優しい気持ち・もう一手間の心配りが和やかな雰囲気を作り出すことにつながるのでしょうか。

そして最後に「倭」ですが、「魏志倭人伝」にも出てくる日本列島を中心とする地域及びその住人を指す際に用いた呼称です。私はオリエンテーリングや里山歩きが趣味ですが、総社市「鬼ノ城」の外周を数回歩いたことがあります。この鬼ノ城、飛鳥時代、白村江の戦いに倭国が敗れた後、唐・新羅の侵攻に備え築城したと考えられています。南側からは備中国分寺や造山古墳、天候さえ良ければ瀬戸内海・四国まで見渡せる当時の山城としては、好位置の場所に立地していたのではと想像されます。時代はさかのぼりますが、邪馬台国の場所は？日本（倭）の中心は？等と思いをはせることのできるスポットです。

輪・和・倭と思いつくまま、書きましたが、終助詞「わ」には、自分の主張を相手に納得させたり自分で確認したりする気持ちを表す意味があるとのこと。これで終わりにしたいと思いますわ。

【心も体つきも輪に近いYUA】

発行責任者  
発行者

玉井義郎

公益財団法人 八正会（トンボ育英事業団体）

郵便番号七〇〇一〇九八五

岡山市北区厚生町二丁目二番九号

株トンボ内 電話〇八六一三三二一〇三二一

印刷所

協同精版印刷株式会社

平成二十六年三月